

2013年09月14日改訂

阪口 功(学習院大学)

isao.sakaguchi@gakushuin.ac.jp

TEL: 03-3986-0221 内線 4820

法学部共同研究室 内線 4800, 4801, 4803

〔授業目的〕

本講義では、地球環境ガバナンスについて理論的視座を持って考察していく。具体的には各地球環境問題における制度形成プロセスの特徴、制度の有効性および有効性を左右する要因などについて学んでいく。

〔履修条件〕

環境政策論（前期）の知識を前提に授業を実施するため、左記科目（阪口・担当）の履修が強く推奨される。

〔授業方法〕

講義形式で実施し、必要に応じて映像資料を用いる。受講者数によっては演習形式の授業に変更することもある。

〔レジメの配布〕

阪口研究室 HP(<http://www-cc.gakushuin.ac.jp/~20050137/index.html>)の「授業関係」のページより DL。(PW は misaki)

〔評価方法〕

レポート（70点）、授業の最初に出席確認代わりに時々実施するミニテスト（エッセイ課題を含めて40点）を総合評価する。なお、「卒業するのに単位が必要なので云々」と評価に手心を加えることを求めた学生はすべて履修放棄扱い。

〔教科書・参考書〕 信夫隆司編『地球環境レジームの形成と発展』国際書院、2000年。

阪口功『地球環境ガバナンスとレジームの発展プロセス』国際書院、2006年。

- (0) 09月14日：講義ガイダンス
- (1) 09月21日：地球環境ガバナンス概説
- (1) 09月28日：地球環境レジームの形成と発展①：科学的知識
- (2) 10月5日：地球環境レジームの形成と発展②：利益
- (3) 10月12日：条約会議休講の予定
- (4) 10月19日：地球環境レジームの形成と発展③：パワー ※休講の可能性あり
- (5) 10月26日：学会休講
- (6) 11月02日：学園祭休講
- (7) 11月09日：地球環境レジームの形成と発展④：規範
- (8) 11月16日：地球環境ガバナンスと遵守・有効性
- (9) 11月23日：秋分の日（休講）
- (10) 11月30日：国際捕鯨レジームの事例研究
- (11) 12月07日：ワシントン条約レジームの事例研究
- (12) 12月12日 2限：国際漁業資源管理の事例研究
- (13) 12月12日 3限：映像資料視聴
- (14) 12月12日 4限：映像資料視聴
- (15) 12月14日：生息地（森林、湿地など）の国際保全体制の事例研究
- (16) 12月21日：オゾン、酸性雨、温暖化防止レジームの事例研究
- (17) 12月26日：大学指定補講日
- (18) 01月11日：特別授業期間
- (19) 01月18日：特別授業期間

※ 日程変更の可能性あり